

■講演

所長 松村 正希が研修会にて、講演しました。

2017（平成29）年6月1日（木）～2日（金）
「知的障がい者の高齢期支援を考える」研修会
～本人主体の支援からより良い生き方へ～

会場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

主催者：熊本県ひのくに知的障害児・者生活サポート協会



講演テーマ：

「高齢期を迎えた知的障害者の支援について
～スウェーデン・デンマークに学ぶ～」

北欧の福祉先進国に何度も訪れ、現地の施設を見学し、研究者やそこで働くスタッフと直接話をし、学ぶことができました。その現地視察を通して、知的障害者・高齢者の方々の自尊心を高め、ひとが「生きる」とは、どのようなことなのかを共に学び、豊かに暮らしていくことを目指した環境や支援の重要性を痛感しました。

北欧では、どんな支援が行われているのか、地域生活に根ざしたソフト・ハード両面の環境づくりと、日本の障害者の高齢期支援に求められる環境についてお話ししました。

- a. 高齢者施設・住宅ー日本、スウェーデン、デンマーク、中国の事例から
- b. 日本の知的障害者施設での実践について
- c. STOCKHOLM で学ぶ、COPENHAGEN で学ぶ
 - ・スウェーデンの政策の歴史的展開・社会サービス法・支援
 - ・デンマークの社会サービス庁の役割、方法論、スタッフの役割、施設整備について